

議事要旨

所属	役職	氏名
内閣官房	副長官	野上 浩太郎
日越友好議員連盟	特別顧問	武部 勤
東京急行電鉄株式会社	取締役相談役、東急グループ最高顧問	越村 敏昭
一般社団法人日本ベトナム経済フォーラム	代表理事	吉田 允昭
一般社団法人日本ベトナム経済フォーラム	専務理事	藤岡 文七
元衆議院議員、一般財団法人東亜総研	常任理事	近藤 三津枝
昭和電工株式会社	専務執行役員	天野 賢
住友商事株式会社	地域総括部部長	丸岡 則之 ^(*1)
一般社団法人日本経済団体連合会	国際協力本部長	川口 晶 ^(*1)
伊藤忠商事株式会社	副会長	小林 洋一
川崎重工業株式会社	顧問	衣斐 正宏
本田技研工業株式会社	二輪事業本部営業部営業課長	藤崎 隆志
日越大学	学長	古田 元夫 ^(*2)
筑波大学	学長	永田 恭介
早稲田大学	学長代理(国際関係)	内田 勝一
立命館大学	理事補佐、評議員	モンテ カセム
独立行政法人国際協力機構	理事	入柿 秀俊
EY 新日本サステナビリティ株式会社	マネージャー	神崎 博之
日越国際大学構想・国内支援事務局	総括	村田 吉隆

*1:代理出席、*2:テレビ会議出席

1. 開会・越村座長御挨拶

- 本年2月4日に開催された第1回有識者会議にて世耕前官房副長官から提示された、日越大学構想を推進する上での以下3つの検討課題について、これまで次期フェーズ分科会及び大学院分科会を通じて、各界有識者及び学識経験者により議論してきた。本会議では、JICAが実施しているプレ・フィージビリティスタディ（以下、「プレFS」）の結果を報告した上で、有識者会議による検討課題への回答として、野上官房副長官へ提言書を提出させていただく。

【3つの検討課題】

- ①ベトナムをはじめとしたASEAN諸国における活動を念頭に、日越大学の卒業生として経済界が実際に必要としているのは如何なる人材か。
- ②そうした人材育成のために如何なる教育プログラムが必要とされ、如何に日越両国の大学等からの持続的な協力を得ていくか。
- ③持続的な大学運営にあたっての留意点は何か。

2. 日越大学プレF S 結果報告

- プレF S 結果に係る最終報告として、民間企業との連携可能性、財務持続性、今後の課題・最終調整事項に係る点を中心に、説明された。

3. 有識者会議による提言及び総括コメント

- 有識者会議メンバーより、概略以下のコメントが述べられた。
 - ✓ 育成する人材として、国家でリーダーシップを取れる人材や産業創成に資する人材、企業の中間管理層など、多様なイメージが描かれているが、それらが並立できるように留意して大学運営をする必要がある。
 - ✓ 財政基盤の確立が重要課題である。学部レベルを含め開設するコースを工夫する他、生涯教育への対応、サテライトキャンパスやITを用いた教育プログラムの導入などの取り組みを積極的に行うべきであろう。
 - ✓ 若者や親、日本企業のニーズをつかみながら日越大学ならではのモデルを構築していけるとよい。良い学生を集めるために、わかりやすくメリットをアピールすることも重要である。

4. 内閣官房副長官挨拶

- 本日の提言とプレF Sの結果を踏まえ、ベトナム側と協議した上で、F Sの実施に移っていけるよう、政府として努力したい。
- 今後、政府として新たに検討を要請する事項が出てくるものと思料する。有識者会議については、学部開設の目処が立つ頃までは設置を継続したい。越村座長をはじめとする各有識者の方々には、引き続きのご協力をお願いする。

5. 閉会・越村座長御挨拶

- 今後も有識者会議としての活動は継続される予定であり、各委員においては引き続きご協力いただきたい。

以上